

学園通信

FUKUOKA UNIVERSITY MAGAZINE

特集

変化の時代を生き抜くために。



No. 71

福岡大学

April 2021

学園通信

FUKUOKA UNIVERSITY MAGAZINE

No.71

座談会
変化の時代を生き抜くために。

新年度を迎える皆さんへ

コロナ禍のキャンパス
ニューノーマルを追い続けて

3

9

13

新卒者の就活ストーリー

卒業生の就活ストーリー

GRADUATES MESSAGE

寄付者ご芳名一覧

ななくま通信

19

21

23

27

30



2021年2月竣工のプール。日本水泳連盟から公認を受け、国際競技も開催可能。西側にはサッカー観戦用のスタンドを備える、新たなスポーツ文化創出の拠点。

変化の時代を生き抜くために。

President × Students × Graduate

副学長が在 student と卒業生に、コロナ禍で一変した社会、そして急速に変化していく未来をどう生き抜くか、語りました。

Future 01

社会的DNAを共有する仲間として

学長 今日には多彩な経歴を持つ在 student、卒業生と交流できることを楽しみにしてきました。実は私も43年前に本学を卒業しました。そういう意味では、私たちは同じ「社会的DNA」を共有しているわけです。DNAを共有している先輩としては後輩は可愛く大切だし、先輩として先輩たる仕事をしなければと思い、日々職務に当たっています。

藤田 大変ありがたいですし、心強いです。福大の卒業生として初の学長と伺いました。

学長

そうですね。創立87年の歴史の中で卒業生が学長になったことは一度もありませんでした。その様な雰囲気も乏しかったかもしれないけれど、しかし、母校で長く教員・研究者をしてきて、卒業生が学長にならないほど残念なことはありませんでした。これからの福大生には、例えば「学長になるぞ」「世界一になるぞ」何でもいいんですが、自分が将来どういったところで頂を目指していくか具体的に大きな夢を持ってもらいたいですね。「自分ではできない」という自信を持って、もっと自分を前に出してほしい。福大生は素直さがあって大変良いのですが、非常にジェントルというか、出し惜しみをするところがあるように思います。食らいついて駆け上がる必死さが大切だと思います。皆さんの活躍には大いに期待していますよ。



Future 02
 変わりゆく時代に
 必要な力とは

学長

昨年、新型コロナウイルスの世界的蔓延により、それまでの生活様式や常識が通用しなくなり、それが「大学とは何か」を突き付けられた一年でもありました。皆さんはどのような一年でしたか。

児玉

入構禁止や遠隔授業になったので、友人にも会えず、先生に対面で質問する機会もつくれず、とても不安でした。自分で考えて学ぶ大変さを実感しました。部活動では陸上競技場がしばらく使えなかったことで、ネットや本で情報を集めながらやることをやりました。制限がある中でいかに工夫して生活していくかをすごく考えさせられた一年だったように思います。

上野

特に新生（現2年次生）はかわいそうに感じます。大学はいろいろな人の価値観に触れられるのが魅力ですが、昨年はコミュニケーションを取る機会がかなり制限されたからね。

児玉

私も陸上競技部の後輩から「友人をつくることができなかつたのでいろいろな面で情報を共有できず、単位を落としそうになった」という声を聞きました。

学長

キャンパスに学生が一切いないというのは、大変異様な雰囲気でした。

上野

私は修士論文で、被験者から集めたデータをもとに研究をまとめていました。多くの人が集まらなければいけない状況は研究が進まず本当に苦しかったです。学会もほぼオンラインに変わりました。現地でしか味わえない雰囲気を感じることができず、海外研究者との交流も制限され、歯がゆく残念でなりません。

学長

司法試験の勉強をしていた藤田さんはどうですか。

藤田

司法試験の実施が5月から8月に延期になりました。しかし私自身、コロナ前から1日12時間は勉強するような生活でしたので、外出自粛自体はあまり影響を感じませんでした。ただ、多様な価値観を知ることができた学部生時代を振り返ると、やはり交流が制限されてつらい思いをした人が多かったのではないかと思います。

学長

確かにこの一年は「Face to Face」での交流が減りましたね。でも、これからの時代はますますそうなるのではないのでしょうか。

学長

SDGs（国連で採択された持続可能な開発目標）の4番目に「質の高い教育をみんなに」という目標があります。本学もさらに学習者本位のカリキュラムや学びの環境を構築していくことが求められています。研究においても、上野さんのように新しい視点を持ち、異分野とコラボレーションしてイノベーションを起こすことができるような成果が求められると考えます。大学自体が、これまでの慣例や習慣あるいは伝統を見直し、世界標準で学びや研究の成果を出せる環境をつくる必要があると感じています。

上野

私は工学研究科で「心拍と音声を用いたハラスメント認識」をテーマに研究しています。医学的な要素や心理学的なアプローチも含まれるため、学部を越えての研究が日常茶飯事です。

学長

心拍ですか。面白い研究ですね。循環器内科学が専門の私も興味があります。なぜそのような研究をしようと思ったのですか。

上野

実は大学で心理学を学びたいと思っていたのですが、結果的に合格したのが工学部でした。ある時、教授から「何でも好きなことをやってみよう」と言われて、それならば思いっきりやってみようと思うようになったんです。私が違う学部の方と不自由なく研究できているのは、全学部が一つに集まっている物理的環境と学部を越えた人的交流が福大キャンパスにあったからだと思います。

Future 03
 絶え間なく動く社会を
 生き抜く力とは

児玉

とても勉強になります。対面で話すときも含めて、コミュニケーションを取る際の本質の様に感じます。

学長

コロナ禍では多くのことができなくなってしまうりましたが、一方で、しなくてもいいことがたくさんあったことに気付かせてくれたのもコロナでした。この状況を柔軟に捉え、時代の流れと趨勢に合わせて進化していくことがとても大事です。必ずしもコロナ前の生活や状態に戻る必要はないと思います。むしろ、それまでの常識を厳しく疑い、まさしくニューノーマルに向けて突き進んでいくべきでしょう。

Profile

福岡市出身。2019年工学部電子情報工学科卒業、21年大学院工学研究科博士課程前期修了。固定概念や学部に関われない自由な発想で研究中。現在の主な研究テーマは「心拍と音声を用いたハラスメント認識」。社会問題であるパワーハラスメントやいじめに対し、生体情報に基づいた検出を行うシステムの開発に取り組んでいる。



大学院工学研究科博士課程後期1年次生

上野 貴弘

Profile

大分県臼杵市出身。陸上競技部所属、短距離(100m・200m)。小学3年で陸上を始め、小学、中学、高校、大学全てで日本一を経験。2019年は4×200m(3走)で日本記録を樹立。20年は日本インカレ3冠、日本選手権100m優勝。100mのベストは日本歴代3位の11秒35。置かれた環境で力をどう出せるかを追求する。



人文学部 教育・臨床心理学科 4年次生

兒玉 芽生

Profile

山口県下関市出身。2016年法学部法律学科卒業。大学入学後、14年間活動が休止していた応援団を復活させ、学内外で話題になる。第57代応援団長。応援団復活を機に体育部会の応援はさらに華やかになる。法曹を目指し、福岡大学法科大学院に進学。19年3月修了。20年の司法試験で合格。4月から司法修習生として研修中。



最高裁判所 司法研修所 第74期司法修習生

藤田 大輝

Profile

福岡市出身。1978年医学部医学科卒業。米国オハイオ州シンシナティ大学の内科フェロー。帰国後は福岡大学一筋に医学研究・診療・後進の育成に邁進。2000年本学卒業生初の医学部主任教授、05年福岡大学病院副病院長。13年医学部長。19年12月より現職。20年には日本人で8人目の米国内科学会最高荣誉会員(MACP)に。専門は心臓・血管内科学。医学博士。



学長

朔 啓二郎

Future 04

ハードワークの先に
見える未来

学長

国産ロケットを開発した植松努さんの言葉に「思うは招く」という素晴らしい言葉があります。藤田さんが「検察官になりたい」と思って懸命に勉強して司法試験に合格したように、兒玉さんが「日本一になりたい」と思って日本選手権100mで優勝したように、上野さんが誰も着眼していない視点でハラスメントを検出する仕組みを構築しようとしているように、夢や計画があつて実現されるそのプロセスが尊いんです。大学に入つてただ4年間・6年間を過ごすようではもったいない。何事も夢を描き目標を立て、そのプロセスを長期的・短期的視点から計画する。そうした後は、そこに向かって恐ろしいまでの努力ができるかどうか。そこに掛かってくる。

上野

最近は夢や目標がない学生も多いと聞きますが。

学長

そうですね。夢はハードワーク、つまり一生懸命取り組むことでしか固定化されていきません。逆に言えば、一生懸命何かに取り組んでいると、自然と開けてくるものがあります。今は夢がない学生さんもしっかり福大に入つたのだから、まずは学部での勉学に懸命に頑張ってください。必ず道は見えてくると思います。

兒玉

大学進学時、陸上競技の強い関東の大学から幾つもお誘いを受けました。多くの大学では、陸上競技場の近くにはスポーツ系の学部しかなく、練習時間を考えるとうしてもスポーツ系の学部に入るしかないんです。でも、福岡大学なら陸上をしながら、学びたいと思つていた心理学を人文学部に入つて学ぶことができます。人生は長いですから、陸上のことだけ、今のことだけを考えるのではなく、いろいろなことを学んでおきたいと思つていました。社会科の教員になるという夢もあり、それを追える環境は本当にありがたいです。

学長

グローバル化が急速に進んでいます。その様な時代では、縦横無尽に情報共有できることが大事だと思います。

上野

そのためにはどんな視点を持つことが大切でしょうか。

学長

これからは「know-who(ノウハウ)」ではなく「know-how(ノウハウ)」ではなく「know-who(ノウハウ)」ですか。

藤田

「know-how(ノウハウ)」ではなく「know-who(ノウハウ)」ですか。

学長

そうですね。自分自身でノウハウを身に付けるのは時間と経験が必要ですが、すでに同じ経験をした人や専門性の高いエキスパートに直接教われれば、問題解決はスピーディーになります。

藤田

私も司法試験の勉強中、学科試験のテクニカルな質問と、法学の学説的な質問をする場合では、違う方に話を聞いていました。誰に頼るか、非常に重要な選択だと思います。

兒玉

組織として「ノウハウ」が仕組み化されている場合はいいでしょうが、誰に話を聞けばいいのか分からない状態のときはどうすればいいでしょうか。

上野

自分から何かを発信する、想いを素直に口に出すことが大事になってくるような気がしますが、いかがでしょうか。

学長

そうですね。臆せず言葉に出して言うことで「それなら、〇〇さんが詳しいよ」と言う情報を得ることができるようになるでしょう。実際に、上野さんが研究内容を熱心に話してくれたことで、先ほど循環器内科学の研究者を紹介する話に発展しました。人の繋がりはそういうものです。情熱や熱心が人の心を動かします。そして、自らも頼られる存在になれるように努力することが大切だと思います。

藤田

今話を聞いて、夢というものを制限して考えている人が多い現実もあるのではないかと感じました。私の場合は幸運なことに、検察官を目指すという夢が社会から肯定的に捉えられやすく、堂々と発言できていました。しかし、例えば小説家やスポーツ選手などは「それで食っていけるのか」と言われがちで、口でできない人もいるのではないのでしょうか。でも、一度きりの人生でもありません。多くが反対しても、自分がやりたいと思うことを見つけ、信念を振り所に貫くことの価値は大きいと思います。

兒玉

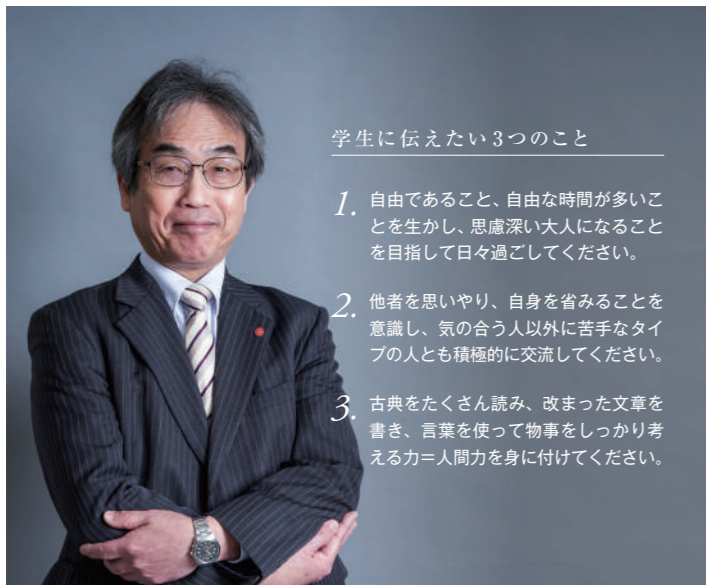
私も五輪出場を目標にしていますが、実際に叶えられるのはほんの一握りの選手だけです。どれだけ頑張っても叶わないこともあるので、口にするのは恥ずかしいと思つていました。しかし、今日の話を聞いて「絶対に出場したい」という気持ちに揺るぎはないので、周りの目を気にせず、やるぞ決めたことに一生懸命向き合いたいと思いました。

上野

周囲の評価を気にし過ぎて無難に生きていくと、社会の潤滑油にはなれても、社会の歯車にはなれないと感じました。自分がどんな存在で、どう生きていきたいか考えて貴重な学生生活を過ごさなければと思いました。

学長

皆さん、素晴らしいですね。これぞ「ザ・福大」です。大学もさらなる改革の時を迎えています。質の高い教育を提供し、イノベーションが起こせるような研究を後押しする環境を整えたいと考えています。社会的DNAを共有する仲間として、共に頑張っていきたいと思います。



学生に伝えたい3つのこと

1. 自由であること、自由な時間が多いことを生かし、思慮深い大人になることを目指して日々過ごしてください。
2. 他者を思いやり、自身を省みることを意識し、気の合う人以外に苦手なタイプの人も積極的に交流してください。
3. 古典をたくさん読み、改まった文章を書き、言葉を使って物事をしっかり考える力=人間力を身に付けてください。

人文学部長 山縣 浩 教授
YAMAGATA Hiroshi
[専門分野] 日本語学(近代)

昨年度は、過去の経験が役に立たない出来事の連続でした。しかし、人文学の知の蓄積をもってすれば、土台は揺らぎません。人文学部で学ぶことの価値を信じて、心と頭を磨き上げ、将来訪れるかもしれない難局に備えてください。

法学部長 山下 恭弘 教授
YAMASHITA Yasuhiro
[専門分野] 国際法

大学内にとどまらないさまざまな場面で大いなる活躍をみせてください。本学部で社会の規範である法を学び、社会におけるさまざまな問題をバランスよく解決する思考方法(リーガルマインド)を身に付けることにより、豊かな人間性を育ててください。

学生に伝えたい3つのこと

1. 多くの人と出会い、人の多様性に気付いて、他者を受け入れる度量を広げてください。
2. 思ったことを平易かつ正確に伝えることを意識して、これを得意な才能にしてください。
3. 法の適用等を説明する仕方に慣れ親しんで、他者を納得させる技術を磨いてください。



経済学部長 姜 文源 教授
KANG Moonwon
[専門分野] 農業経済学

全てが大きく変化している現代社会では、新しいことを継続して吸収する力が必要です。社会人になっても自ら学び続けられる人になれるよう、経済学部で学ぶこと、勉強することの楽しさを体験してください。

学生に伝えたい3つのこと

1. 学生時代には、さまざまな経験を積むことが大事だと考えます。学業、部活やサークル、アルバイト等のさまざまな活動に全力を注ぎ、日々発展する日常を送ってほしいと思います。
2. 自分が人生をかけてやりたい仕事、ライフワークを見つけてほしいと思います。そのために、「私」をしっかりみつめ、考える毎日を過ごしてください。
3. 経済学部出身ならば、新聞の経済面を読み、その記事について自分の意見を述べることでできてほしいです。経済学をしっかり学び、経済事情や経済の変化について専門性を持って語る人材になってください。



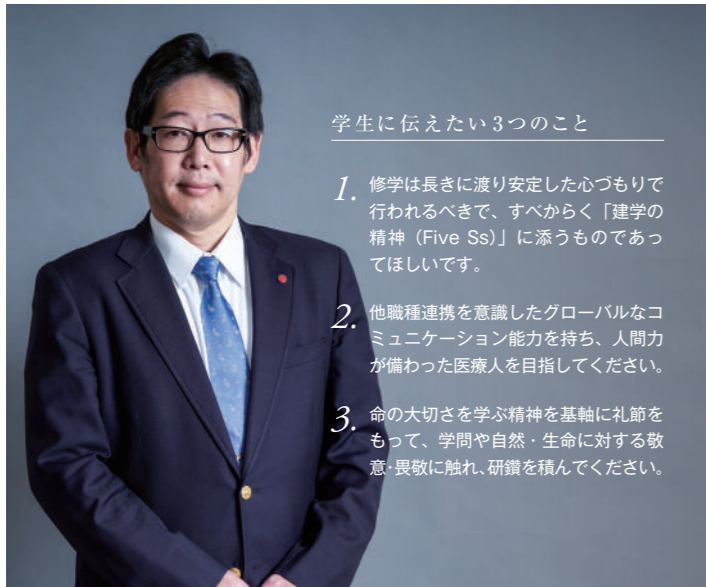
Message from the Dean

新年度を迎える皆さんへ

Questions

学生に伝えたい3つのこと

1. どのように学生生活を送ってもらいたい
2. 在学中にどのように意識し、どのような経験をしてもらいたい
3. 学部で学んでほしいこと、身に付けてほしい力

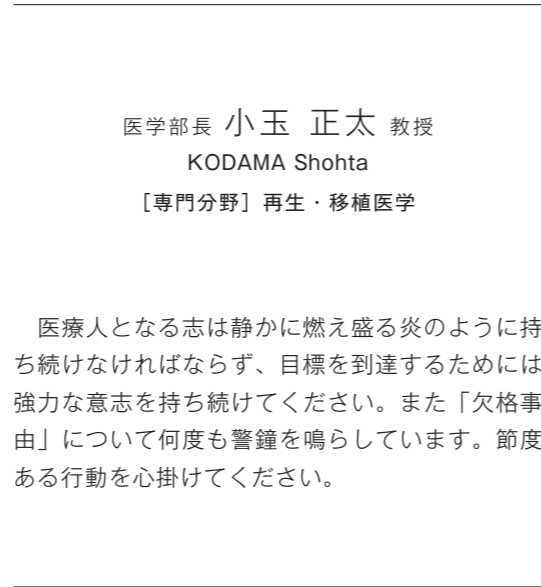


学生に伝えたい3つのこと

1. 修学は長きに渡り安定した心づもりで行われるべきで、すべからく「建学の精神 (Five Ss)」に添うものであってほしいです。
2. 他職種連携を意識したグローバルなコミュニケーション能力を持ち、人間力が備わった医療人を目指してください。
3. 命の大切さを学ぶ精神を基軸に礼節をもって、学問や自然・生命に対する敬意・畏敬に触れ、研鑽を積んでください。

薬学部長 三島 健一 教授
MISHIMA Kenichi
【専門分野】生体機能制御学

考えるよりも一歩踏み出して行動することが大切です。失敗を恐れずに多くのことにチャレンジし、その中で自分の周りで何が起きているかをよく見て、相手の気持ちや物事の本質に「気付き力」や「共感力」を身に付けてください。



医学部長 小玉 正太 教授
KODAMA Shohta
【専門分野】再生・移植医学

医療人となる志は静かに燃え盛る炎のように持ち続けなければならない、目標を到達するためには強力な意志を持ち続けてください。また「欠格事由」について何度も警鐘を鳴らしています。節度ある行動を心掛けてください。

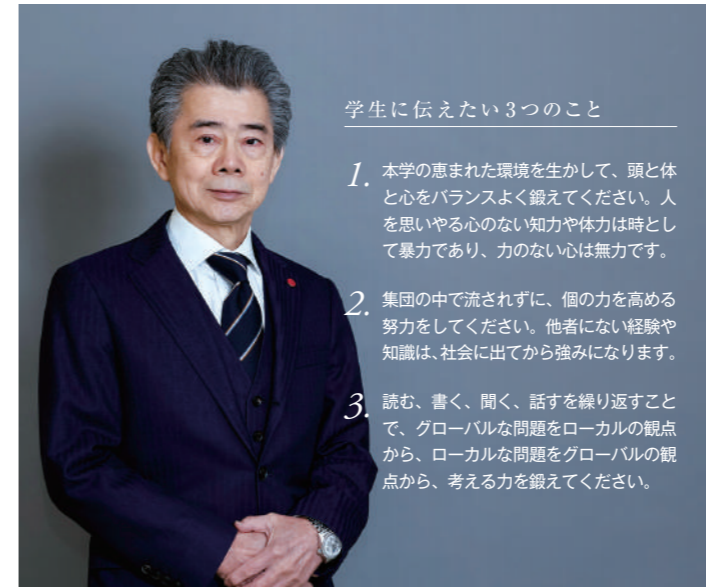


学生に伝えたい3つのこと

1. 学部の枠を越えて多くの人と交流し、たくさんの教育・研究施設を有意義に利用して、充実した学生生活を送ってください。
2. 「最新の社会情勢」を意識しながら、学んだ知識・技能・態度をアウトプットする経験をたくさんしてください。
3. 命を支える薬剤師像をイメージしながら、薬剤師としての使命感・倫理感を育ててください。

薬学部長 三島 健一 教授
MISHIMA Kenichi
【専門分野】生体機能制御学

考えるよりも一歩踏み出して行動することが大切です。失敗を恐れずに多くのことにチャレンジし、その中で自分の周りで何が起きているかをよく見て、相手の気持ちや物事の本質に「気付き力」や「共感力」を身に付けてください。



学生に伝えたい3つのこと

1. 本学の恵まれた環境を生かして、頭と体と心をバランスよく鍛えてください。人を思いやる心のない知力や体力は時として暴力であり、力のない心は無力です。
2. 集団の中で流されずに、個の力を高める努力をしてください。他者にはない経験や知識は、社会に出てから強みになります。
3. 読む、書く、聞く、話すを繰り返すことで、グローバルな問題をローカルの観点から、ローカルな問題をグローバルの観点から、考える力を鍛えてください。

理学部長 永田 潔文 教授
NAGATA Kiyofumi
【専門分野】超高压物性

自分が興味を持ったことに、馬鹿馬鹿しいほど本気になって取り組みましょう。ある程度成功しても、そこで満足せずより高いところを目指しましょう。この過程で得られる経験知は、あなたが何者であるかを教えてくれるとともに、将来必ず、あなたの社会における活躍に結びつきます。

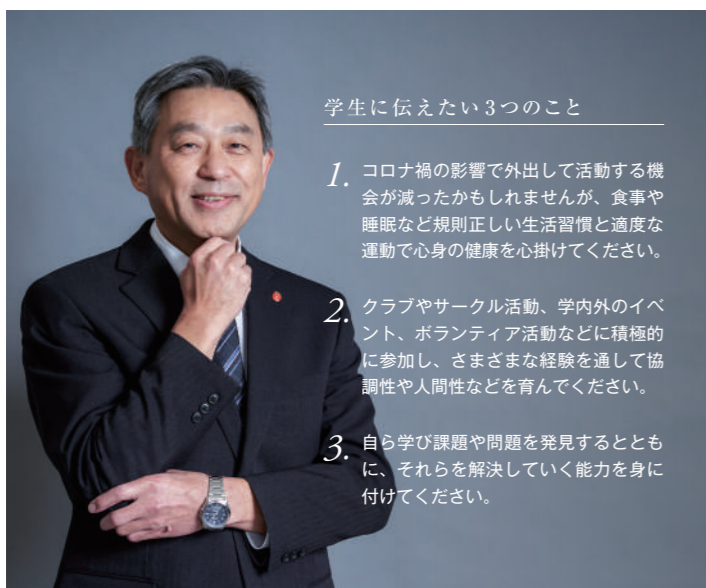


学生に伝えたい3つのこと

1. "Stay Hungry, Stay Foolish" (アップル創業者の一人、スティーブ・ジョブズの言葉)
2. 自分とは何者なのか、意識しましょう。
3. 広い視野から自然を理解しましょう。

商学部長 中川 誠士 教授
NAKAGAWA Seishi
【専門分野】ヒューマンリソースマネジメント

さまざまな競争の場に身を置くことで、努力の成果を、うぬぼれにも卑屈にも陥ることなく、客観的に把握することができます。そしてその把握の結果は、次の競争の機会に備えるモチベーションを与えてくれます。競争は自分を鍛えてくれる最良のコーチです。



学生に伝えたい3つのこと

1. コロナ禍の影響で外出して活動する機会が減ったかもしれませんが、食事や睡眠など規則正しい生活習慣と適度な運動で心身の健康を心掛けてください。
2. クラブやサークル活動、学内外のイベント、ボランティア活動などに積極的に参加し、さまざまな経験を通して協調性や人間性を育ててください。
3. 自ら学び課題や問題を発見するとともに、それらを解決していく能力を身に付けてください。

スポーツ科学部長 米沢 利広 教授
YONEZAWA Toshihiro
【専門分野】コーチ学

スポーツ科学部では「文武合一」という教育方針のもと、スポーツや運動を通じた実践知とスポーツ医・科学の理論知を融合することを目標にしています。スポーツは自らが行うだけでなく、応援することやサポートする関わり方もあります。そのような活動を通じて、スポーツの文化的側面や多様な価値に気付き、柔軟な発想と行動力が身に付いていくことでしょう。



学生に伝えたい3つのこと

1. 勉強することは当然ですが、スポーツ、映画を観る、本を読む、旅行など、さまざまなことに挑戦してください。
2. 総合大学であるという利点を活用し、他学部、他学科の専門家や学生と接し交流を深め、幅広い知識や視野を身に付けてください。
3. 高い専門性を身に付けるには、基礎となる考え方を十分に理解するとともに、着実に知識を修得しなければなりません。「学び続けていく」姿勢を身に付けてください。

工学部長 森山 茂章 教授
MORIYAMA Shigeaki
【専門分野】機械設計・工作

幅広い教養と人間力を兼ね備え、人類の幸福や福祉、地球環境などを考えることができる技術者を目指してください。何事にも積極的な態度でのぞみ、楽しく充実した大学生活を送ってほしいと思います。



コロナ禍での学び方を踏まえ
新しい「学び」のかたちへ

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、多くの授業が遠隔で行われた2020年。後期は対面授業が徐々に再開されたものの、学生と教員が密に対面して議論を交わすような授業は難しい状況でした。

その中でも、教育の質をいかに確保し提供できるか、学生一人で学びをどう深めていけるか、教員も学生も試行錯誤が続きました。

対面とオンライン配信を併用した「ハイブリッド授業」、丁寧な解説付きのデジタルコンテンツを提供する等のオンデマンド対応、チャット機能の活用等々。

2021年度は感染防止を徹底した上で原則対面授業を実施しています。直に顔を合わせ、互いの空気を感じながら学べることに幸せを感じながら、同時に、コロナ禍における新たな状況の中で効果的に学びを深めていく方法の追求が必要となっています。



対面授業が始まり、マスク姿で登校する学生たち

コロナ禍で行われた2020年度の授業

創業体験プログラム



女子商マルシェ当日の様子

実際に模擬店を出店することで、会計の知識や起業について学ぶ科目。福岡女子商業高校主催「女子商マルシェ」に出展し、模擬店運営の実践を経験。コロナ下での商売経験は教科書にも載らない貴重な経験値となった。

(商学部・飛田 努 准教授・藤野 真 准教授)

政治過程論



研究室からオンライン授業を配信

授業はリアルタイム配信型の遠隔授業で実施。パソコン画面にはスライド資料が常時表示され、教員の音声による解説が加わる。チャット機能で学生の理解度を把握しながら、必要に応じて補足資料が映し出されたりする。

(法学部・東原 正明 教授)

インターンシップ実習Ⅰ



オンラインで行われた企業報告会

企業が持つ課題を調査・研究して解決策を探るPBL(課題解決型)授業も遠隔授業で実施。学生各々が捉えた課題や解決策はパソコンを通してリアルタイムに議論。分かりやすく伝えるため、より考えを突き詰める必要がある。

(人文学部教育・臨床心理学科・植上一希 教授)

共同研究(江川研究室)



機器を使用して血液中の薬物濃度を測定

福岡大学病院救命救急センターとの共同研究。患者さんから採血した血液の薬物濃度分析を行う。現場の先端医療に触れながらの研究は刺激的で、研究そのものに社会貢献・人類貢献を敏感に感じるようになった。

(薬学部・江川 孝 教授)

基礎電気磁気学

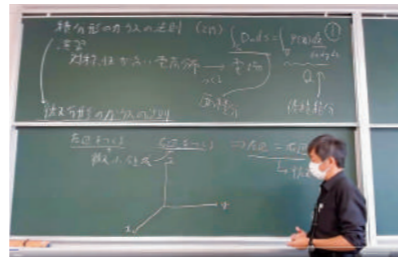


教室で授業を受ける学生たち

主に1年生対象の科目で、ハイブリッド授業を実施。対面授業は、キャンパスに来ることが少なかった1年生の「学友との学び」を感じる貴重な時間に。同一の空間に居る心地良さが、一層勉学を面白くさせる瞬間があった。

(工学部電子情報工学科・名倉 徹 教授)

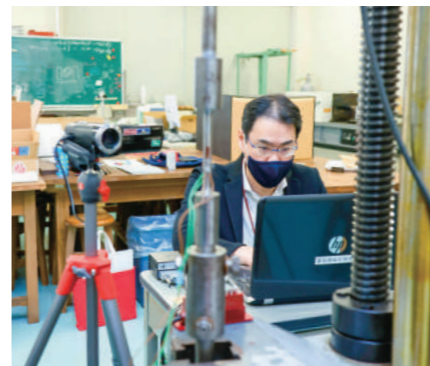
物理学Ⅲ



同時配信された授業

受講生の半数が対面、半数がオンラインで受けるハイブリッド授業を実施。授業は動画として録画され公開。それを見直すことで理解が深まり、学修効果としても高かった。学生誰もが何度も復習できるところが良い。

(理学部地球圏科学科・林 政彦 教授)



ビデオカメラ(写真左側)で実験の様子を撮影

材料試験
実験の映像を事前に収録して配信するオンデマンド形式で授業を実施。オンライン配信になったことで、受講する学生全員が同じ視点から実験の様子を確認でき、「対面時よりも実験を近くから観察でき分かりやすかった」という声が多く聞かれた。

(工学部機械工学科・柳瀬 圭児 教授)

コロナ禍で多くの部・団体が
感染対策を徹底して活動。

コロナ禍での課外活動



馬術部

コロナ禍でも馬の生活は変わらない。6時に朝食そしてブラッシング…。馬のお世話も変わらない。ただただ馬が感染しないように。マスクを着けてあげられない。



サッカー部 (男子)

約100人を擁するサッカー部(男子)。全国屈指の戦績を残し続けられる理由の一つはチームとしての一体感。オリジナルマスクの着用はその象徴であり部員の拠り所。



和太鼓部 (鼓舞猿)

迫力ある太鼓の音と俊敏な動きが、見る人に活力を与える鼓舞猿。「ドンドンドン!」。来場者数制限下の演奏会であっても、直に人前で演奏できることの幸せを感じる。



陸上競技部

日本歴代3位の記録保持者まで擁する陸上競技部。激しい息づかいが他の選手への感染につながらないか部員全員が高い意識を持つ。使用器具の消毒も怠らない。



将棋部

将棋の3手5手先を読むことはできてもコロナの動きを読むことは難。対面で長考するのでマスクは絶対。駒も互いが触るので消毒絶対。コロナ終息の詰みをどう読む。



応援指導部 (応援団)

各競技大会が中止される中、エールを送る機会さえ失われた2020年。しかし、だからこそ「応援したい」という気持ちは沸騰するばかり。その想いは映像で届けた。



福岡大学病院

病院入口に体温を自動で測定する機器を設置。多数の来院者を効率的に感知。

体温測定システム



自修寮・指定寮

寝食を共にする寮生活。共有スペースがあるだけに一人一人の感染防止意識が最大の対策。

出入口に消毒液を設置



学長の動画配信

医師である学長自ら、手指消毒の方法やマスクの外し方を実演した動画を配信。

全学生・教職員に配信



学生食堂

話さずに食べる必要がある学食。相手の表情や仕草を敏感に捉え無言の会話を楽しむ。

座席等にパーテーション設置



学生課窓口

さまざまな相談に応じてもらえる学生課。多くの人々が利用するだけに感染防止対策は厳重に。

窓口にパーテーション設置



第二記念会堂

アスリートが多数往來する体育館出入口。検温や学生証による入室管理システムを導入。

入室管理



薬学部の研究室

図書館

図書館では、館内施設の利用制限や消毒・換気の徹底などの感染対策を実施しています。また、図書館に来ることが難しい学生に対し、所蔵文献の案内や、学生の気分転換になるような資料を紹介したオンライン展示を実施しました。



間隔を確保しながらの学習

閲覧スペースでは、利用者同士の間隔を確保するため、座席数を減らしています。



図書館活用ガイド

図書館のウェブサイトでは「図書や論文の探し方」「自宅からオンラインで使える電子資料活用術」「おすすめの本」などの情報を発信しています。



オンライン展示

例年館内で実施していた特集展示をオンラインに切り替えて実施しました。直近では「読んでリフレッシュ!」などをテーマに行いました。

大学生活での悩みや不安に向き合う

ヒューマンディベロップメントセンター（学生相談室）

友だちと会えない、相談相手がいない、何をしたいのかわからないなど、コロナ禍で外出が制限されている中では、どうしてもメンタルに不調を来すものです。ヒューマンディベロップメントセンターでは、メンタル面を中心に、学生やそのご家族からの相談を受け付けています。「話をして落ち着いた」「心がソワソワしていたのが和らいだ」との感想が寄せられています。



グループ活動

「1年生で集まって話そう」「映画好き集まれ」などの気軽なテーマで話をするものや、ストレスについて考えるグループ活動など、さまざまなテーマを用意しました。



電話・オンラインでの面談も可能に

大学生活や対人関係、将来のこと、自分自身のことなど、どんな相談も受け付けています。2020年度は電話やオンラインでの面談がメインでした。対面での面談も必要に応じて行いました。

こころの整理

専門のカウンセラーが学生の皆さんからの相談に応じます。相談内容の秘密は守りますので、安心してお越しください。

どんな相談でも結構です。一人で悩まずに、ヒューマンディベロップメントセンターに来てみませんか？個別相談だけではなく、少人数の体験型活動も実施しています（授業期間のみ）。まずはお電話でお問い合わせください。

●本学学生のごことであれば、ご家族や教職員からの相談も受け付けています。

例えば…

人間関係がうまくいかない、不安、単位のこと心配、朝起きられない、予定の管理がうまくいかない、授業に出るのがおっくう etc...



- 費用** 無料
- 相談時間** 月・水・木・金 / 9:30 ~ 16:30
火 / 9:30 ~ 18:30
- 場所** 学生部事務室棟3階
(1階に学生課のある建物)

ヒューマンディベロップメントセンター（学生相談室）

要予約 092-871-6631(代) 予約は平日の9:00から16:30をお願いします。

公式Twitter @HD98374815 でも情報を発信しています。



就職・進路支援センターによる、オンラインを中心とした面接指導やセミナーなどの就職活動支援。

就職活動支援



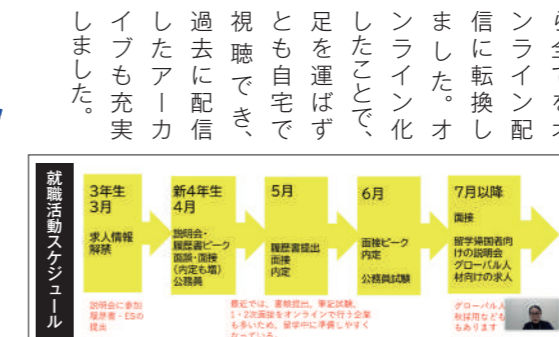
就職活動支援
01

オンライン面談

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、多くの企業がオンラインでの面接を行っています。就職・進路支援センターでは、これまで対面で行っていたほとんどの面接指導をオンラインに切り替え、対応しています。対面での面接と異なる、オンラインならではの面接のコツや注意点なども丁寧に指導しています。なお、対面での面接指導にも対応しています。面接指導をご希望の方は、就職・進路支援センターまでお問い合わせください。



2020年度に実施されたオンラインセミナー（一部）



2月に実施された「Global Career Seminar」の様子

就職活動支援

02

オンラインセミナー

グループディスカッション講座や企業研究セミナーなどの就活関連のセミナーも、2020年度から全てをオンライン配信に転換しました。オンライン化したことで、足を運ばずとも自宅で視聴でき、過去に配信したアーカイブも充実しました。



久原本家グループのオンライン説明会

就職活動支援

03

オンライン企業説明会

大きな会場で行われていた合同企業説明会の多くが中止となった今、就職・進路支援センターでは、オンラインでのライブ配信による企業説明会を実施しています。

オンラインによる企業説明会は、「対面比べて企業の雰囲気掴みにくい」という声がある一方、交通費や移動時間を削減できたり、チャット機能を使うことで質問がしやすくなったりと、これまでに無かったメリットがあります。

Column

フェースシールドやパーテーションなど感染対策用の備品をものづくりセンターで製作

福岡大学ものづくりセンターでは、レーザー加工機や3Dプリンターを使って、感染対策用の備品を製作しています。製作したフェースシールドやパーテーションは、大学内や福岡大学病院で活用されたほか、県内の医療機関や特別支援学校にも無償提供しました。



内定を掴むまでのそれぞれのストーリー。



田村 拓也さん
TAMURA Takuya
就職先：西部ガス株式会社
工学部化学システム工学科 2021年卒業

十分な準備を行い 余裕を持って就活に臨もう

選考時期に余裕を持って就活に臨めるよう、情報収集や企業研究などは早い時期から行いました。選考の多くがオンライン形式で行われ、不安に思うこともありましたが、事前に十分な準備を行ったことで気持ちにゆとりが持てたと思います。また、「企業はどのような人材を必要とするのか」を企業側の立場で考え、ビジネス書や自己啓発本も読むようにしました。

4年次になって就職活動が本格化。オンライン説明会への参加や面接を経て、6月に西部ガス株式会社から内々定を得ました。挑戦的に多角的な事業を展開していることや、お客さま対応に魅力を感じ、入社を決めました。これからは、大学で学んだことを最大限に発揮していきたいと思っています。

私の成長ストーリー

- 1・2年次** 授業が大変だったこともあり、学業に集中する日々を送る。1つ1つ確実に理解していくよう学んだ。
- 3年次** 3年次から就活への準備を始める。ビジネス書や自己啓発本からも情報を得るよう努めた。
- 4年次** 6月に西部ガス株式会社から内々定を得る。その後は、社会人となるための準備に時間を費やす。



Key Item
ビジネス書
仕事に関する書籍を常に携帯し、就活のヒントを得るよう心掛けました。



末石 千尋さん
SUEISHI Chihiko
就職先：株式会社福岡銀行
法学部法律学科 2021年卒業

課題解決型プログラムへの参加で「考える力」が身に付いた

九州の経済発展に貢献したいと思い、地方銀行への就職を志望しました。自治体などと連携した就職・進路支援センターの「課題解決型プログラム」に2年続けて参加したほか、ものごとを論理的に考える力を身に付けるため、学外のビジネスコンテストにも参加しました。

コロナ禍での就活は、説明会や面接のほとんどがオンラインで実施されましたが、むしろ遠方の企業の説明会にも参加できたため、視野が広がったと感じます。

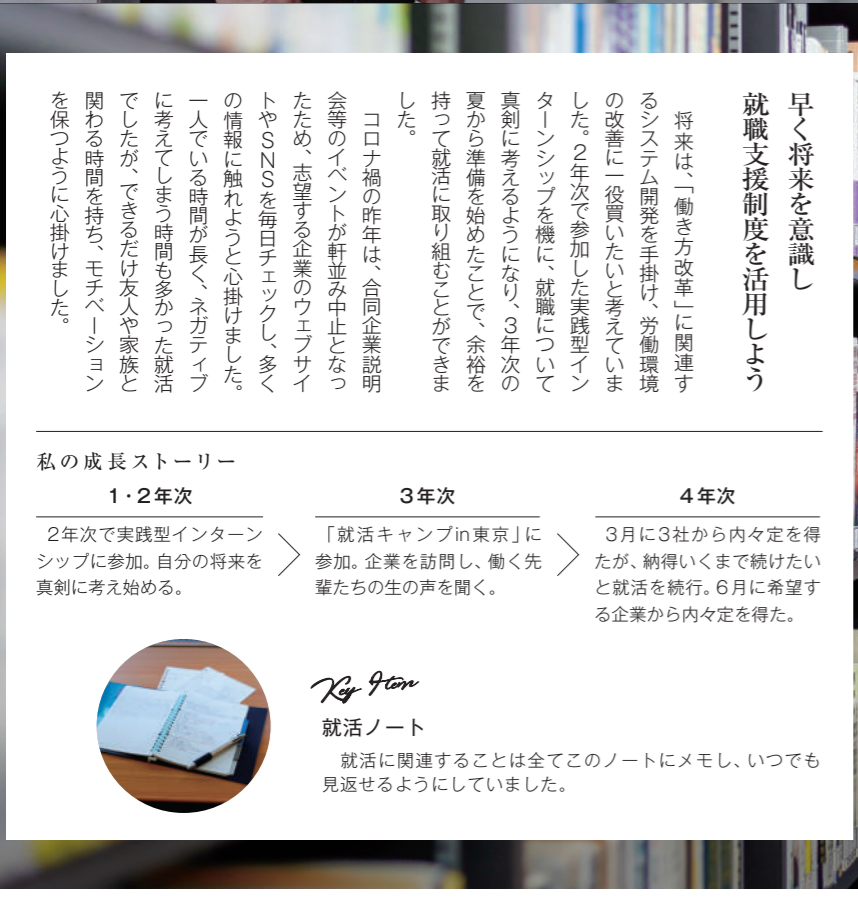
最終的に福岡銀行から内々定を得ました。早く金融の知識を身に付け、お客さまに寄り添える行員を目指します。

私の成長ストーリー

- 1・2年次** 福岡市と福岡大学との連携による「課題解決型プログラム」や、学外のビジネスコンテストにも参加。
- 3年次** 福岡銀行×福岡大学「課題解決型プログラム」のほか、多数のインターンシップに参加。
- 4年次** オンライン説明会に参加し、徹底した企業研究を心掛けた。6月に福岡銀行から内々定を得た。



Key Item
就活ノートとタブレット
特にタブレットは、オンラインでの説明会や面接で大活躍。私の就活に欠かせないものでした。



末廣 優花さん
SUEHIRO Yuka
就職先：NECソリューションイノベータ株式会社
理学部物理科学科 2021年卒業

早く将来を意識し 就職支援制度を活用しよう

将来は、「働き方改革」に関連するシステム開発を手掛け、労働環境の改善に一役買いたいと考えていました。2年次で参加した実践型インターンシップを機に、就職について真剣に考えるようになり、3年次の夏から準備を始めたことで、余裕を持って就活に取り組むことができました。

コロナ禍の昨年は、合同企業説明会等のイベントが軒並み中止となったため、志望する企業のウェブサイトにSNSを毎日チェックし、多くの情報に触れようと心掛けた。一人でいる時間が長く、ネガティブに考えてしまう時間も多かった就活でしたが、できるだけ友人や家族と関わる時間をもち、モチベーションを保つように心掛けた。

私の成長ストーリー

- 1・2年次** 2年次で実践型インターンシップに参加。自分の将来を真剣に考え始める。
- 3年次** 「就活キャンin東京」に参加。企業を訪問し、働く先輩たちの生の声を聞く。
- 4年次** 3月に3社から内々定を得たが、納得いくまで続けたいと就活を続行。6月に希望する企業から内々定を得た。



Key Item
就活ノート
就活に関連することは全てこのノートにメモし、いつでも見返せるようにしていました。



刀祢 公輝さん
TONE Koki
就職先：中外製薬株式会社
経済学部経済学科 2021年卒業

入学した時から就職を意識 メリハリのある大学生活を送ろう

大学受験で思うようにいかなかった経験から、入学時から「就職」を意識して大学生活を送ってきました。アルバイトやゼミでも、気になったことがあればすぐにメモを取るようにし、就活での話の「引き出し」を多く持てるように心掛けていました。

昨年は思わぬコロナ禍に見舞われ、面接の多くがオンラインで行われました。慣れない準備に戸惑うこともありましたが、面接会場までの交通費や時間を削減できたおかげで、例年ではかなわないようなスケジュールを組むことができました。コロナ禍の就活は、地方学生にとってはむしろ追い風になると感じています。

私の成長ストーリー

- 1・2年次** 大学の制度を利用して、2年次にイギリスに短期留学。所属した経営学研究部では、全国大会で優勝。
- 3年次** 大学主催の就活キャンin東京に参加。金融業界を中心に説明会に参加したほか、OB・OG訪問会で製薬会社に興味を持ち始める。
- 4年次** 金融や製薬、印刷業界など35社にエントリー。WEBテストやオンライン面接を経て、5社から内々定を得る。



Key Item
ノートパソコン
コロナ禍でほとんどの面接がオンラインとなり、このパソコンは一年を通して一緒に戦ってくれました。

自分の考えや直感を信じ、迷わず進むことが大切

私は現在、ヘアケアやスキンケア製品の製造・販売を行う株式会社nijitoで、お客さま対応を行うCS部に所属しています。入学当初は秘書を目指してエグゼクティブアシスタントの秘書検定受験対策講座で学び、秘書検定2級に合格しました。しかし、本格的な就職活動を始めるにあたり、もっと多くの業界・職種を知りたいと、「業界研究セミナー」に参加。同時に、自己分析も徹底的に行いました。その結果、中小企業やベンチャー企業に興味があり、「モノ」より「ヒト」にフォーカスした職種で働きたいという気持ちで明確に、2社から内々定を得ることができました。しかし、本当にこの会社で良いのかという迷いは拭えないままでした。そんな中、所属ゼミでnijito代表の講演を聞く機会がありました。代表の講演の中で、nijitoは「おせっかい企業No.1」を目指すと、というコンセプトを持つ会社であることを知り、これまでにない興味を持ちました。後日、nijitoの担当者へ自ら連絡を経て、「自分にはここしかない。この人たちと働きたい」と強く感じ、入社を決意しました。nijitoのモットーは、「想像と創造に満ちた提案センスと、気付きや価値のある提案センスをもってお客さまに接すること」。CS部では日々、そんな「おせっかい」を追求しています。直感で入社を決めたことを、「衝動的過ぎたかも」と思うこともありましたが、ワクワクできる会社で働きたいという思いや、部活動やアルバイトを通して「おせっかい好き」な自身の性格が判つていたため、全く後悔していません。自分の考えや直感を信じて、就職活動を進めることが大切です。



本当にその仕事をしたいのかを見極めて

コロナ禍での就活は大変でしょうが、自分と社会とを冷静に見つめる時間を持ってください。「なぜ自分はその仕事をやりたいのか」という“軸”を大切に就活に臨んでもらいたと思います。

株式会社nijito | CS部

土野 昌美さん

(商学部経営学科 2018年卒業)

熊本地震をきっかけに通信インフラの重要性を痛感

電気系設備会社に勤務する父の影響もあり、大学進学時は迷わず工学部電気工学科を選びました。在学中の2016年、熊本地震で友人が被災。私は、携帯電話回線の復旧後、友人を電話口で励ますことしかできませんでした。同時に、通信インフラの重要性も強く感じました。この出来事がきっかけで、通信会社でエンジニアになりたいという具体的な夢を持つようになり、就職活動を始めました。3年次生の2月頃、就職・進路支援センターを訪れた時に、偶然にも現在の私の職場であるNTTファシリティーズ九州のルート担当の方と出会いました。その後、企業説明会への参加やエントリーシートの提出を経て、WEBテスト等を受験しました。4年次生の4月からは、福岡や東京で1次、2次、最終面接に進み、6月上旬、晴れて内々定を得ることができました。



株式会社NTTファシリティーズ九州 | 営業部

清水 風太さん

(工学部電気工学科 2018年卒業)

夢を実現するために、何をすべきなのか考えよう

就職活動は、自分の将来と真剣に向き合う貴重な経験です。夢や目標に近づけるよう、人生の先輩方にもアドバイスを頂きながら、「自分が今何をすべきか」をじっくり考える時間を設けてみてください。

災害ボランティアを通じて関心を持った自治体業務

2020年4月から、福岡市城南区役所の選挙管理委員会事務局および総務課に勤務しています。

市役所の職員を目指すきっかけとなったのは、2017年の九州北部豪雨。朝倉市でボランティア活動をした際、地元の方々から、「福岡市の支援が早くても助かりました。ありがと」という感謝の言葉を頂き、福岡市民としてとてうれしかったからです。それ以来、福岡市の災害対策等の施策に興味を持ち、3年次生の4月から公務員試験の勉強をスタート。大学の図書館やPC教室など、集中できる環境を選んで勉強しました。

大学で行われている模擬面接だけではなく、友人たちとも面接の練習を行いました。友人からの意見を聞けたことに加え、面接する側の立場を経験できたことが大きかったと思います。



模擬試験の成績が一時的に下がったり、勉強する意欲が薄れる時期もありましたが、就活中の友人たちの姿が、自分を奮起させてくれたと思います。就活中の反省点は、「情報収集を十分にできていなかったこと。合同説明会には参加していたものの、各官公庁主催の説明会にはあまり参加していませんでした。自分だけが知らないことがある状況に焦ったこともありましたが、現在、平常時は選挙人名簿の調製や選挙の啓発などを行い、選挙時は不在者投票の受付、投票所および期日前投票所の運営、開票事務などを担当しています。今後は、自ら率先して市民の声を聞き、一緒に考え、市民の力になれるような職員を目指し、幅広い知識と経験を積んでいきたいと思っています。

福岡市城南区役所
選挙管理委員会事務局 | 総務課 (兼任)

草野 友巴さん

(法学部法律学科 2020年卒業)

努力は必ず報われる。最後まで諦めないで!

就職活動は長期戦で、士気が下がる時もあると思います。でも、毎日コツコツ努力を積み重ねることで、自信につながるはず。『The pain of study is temporary, the pain of not study is lifelong.』です。

出遅れを気にするより、なりたい自分を想像して

自分の就活を振り返ってみると、反省点ばかりのような気がします。薬学部に入社したものの、実習体験後に何となく、病院に就職できれば、と、漠然としたビジョンを描いていたのみでした。そのため、就活時期になって、試験を受けた病院を見つけても、見学会申込み期限が終わっていたことが何度もありました。

そうこうするうち、同級生たちは次々と内々定を獲得し、国家試験に向けた勉強へと軸足を移してきました。一方の私は、売店まで履歴書を買って行っているくらい。焦りと虚しさを感じていました。何とか周囲に追い付かねばと思い、就職・進路支援センターへ行き、提出する履歴書の添削や模擬面接などの指導を受けたほか、先輩方の『就活体験記』なども参考にしました。手厚い添削や面接指導のおかげで、徐々に遅れを取り

戻し、12月に内々定を得ることができました。現在の職場では、入院患者さんへの処方する薬の調剤や処方監査、服薬指導のほか、医薬品情報管理などの業務を担当しています。病院業務は命に直結する仕事のため、日々責任感を持って業務にあたっています。



福岡青洲会病院 | 薬剤部 (薬剤師)

末金 翠さん

(薬学部薬学科 2018年卒業)

あなたを必要とする職場がきっとあるはず

希望する職種が決まっているならば、そこにつながる情報収集は積極的に行うべきです。就職・進路支援センターも積極的に活用しながら、最後まで諦めずにトライしてください。必ず結果に表れるはず。必ず結果に表れるはず。必ず結果に表れるはず。



(株)ヒト・コミュニケーションズ・ホールディングス
代表取締役社長グループCEO

安井 豊明さん YASUI Toyomi

1988年3月、体育学部体育学科(現:スポーツ科学部スポーツ科学科)卒業。同年4月、株式会社富士銀行(現:株式会社みずほフィナンシャルグループ)入行。2001年に大手家電量販店に転職した後、2004年9月にグループ会社である株式会社ヒト・コミュニケーションズ代表取締役社長に就任。その後MBOを実施し、現在代表取締役社長グループCEOを務める。

ラグビーで培った精神で 業績を拡大

家電の販売系営業支援等のアウトソーシング事業やファシジョン系のデジタル営業支援等のE.C・T.C支援事業を行う株式会社ヒト・コミュニケーションズ・ホールディングス。同社の代表取締役社長グループCEOを務める安井豊明さんは、高校・大学と一貫してラグビーに打ち込み、本学体育学部体育学科を1988年に卒業した生粋のラグーマンです。高校時代には、花園で準優勝の経験もあります。

「人格形成において、ラグビーから多くの影響を受けました。たくさんの方の生涯の友も得て、経営者となった今もラグビーに心から感謝しています」。そんな安井さんが、企業経営のためのキーワードとして挙げているのが、「社内を、いかに『ONE TEAM』にするか」です。社員に「責任感」「One For All」の精神を持たせ、チーム戦で業績を上げていくというラグーマンらしい経営モットーが、社長就任から13年で、年商を当初の約15倍にまで拡大させた要因の一つと言えます。

アメリカ横断旅行が 人生を変えるきっかけに

親族が福大の薬学部に進学されていた縁などから、福大への進学に迷いは無かったという安井さん。卒業後は、実家の家業を継ぐか教員になるか迷っていた。そこで、大学3年次の春に出掛けたアメリカ横断旅行が、その後の人生を変える大きなきっかけとなりました。「スケールの大きいアメリカを目の当たりにしたことで、自分の可能性を追求したいと強く思うようになったのです」。そこで、大きなビジネスフィールドを持つ金融業界を目指し、富士銀行(現:みずほフィナンシャルグループ)

「経験する」ことが“成長エンジン”となる

に入行。バブル景気の破綻と金融ビッグバンに伴う銀行の経営統合という、極めて多忙な日々を過ごしましたが、ラグビーで培ったガッツと責任感で乗り切りました。

一方で、銀行業務では企業などに対して、金融に限定した一面的な支援しかできないことに物足りなさを感じ、2001年に家電量販店に転職。そして転職から3年後、39歳でそのグループ会社の社長を臨時で引き受けたことがきっかけとなり、企業経営に目覚め一念発起。MBO(経営陣による株式譲渡)を提案し、分離独立を果たしました。

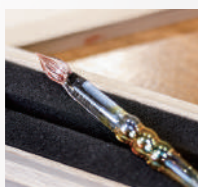
「やれる」「びびる」 でなければ意味が無い

その後2011年には株式を上場し、これまで着実に業績を拡大してきた安井さん。大学時代の就職活動では、徹底した自己分析に取り組んだそうです。「勇気を持って自分と向き合い、とことん掘り下げていく過程で、自分自身の弱さを隠すつもりはなかったことを知りました。その経験が、ブレの無い、しっかりと自己を確立してくれたように感じます。「自分を繕ったりごまかしたりしても、良い結果は出ません。自分をしっかりと知り、理解するために、在学中の後輩たちにも徹底的な自己分析をお勧めします」。

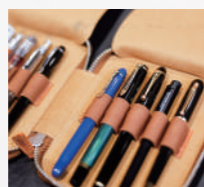
「ビジネスの世界で「知っている」は何の役にも立たず、「やれる」「できる」でなければ意味が無いと強調する安井さん。自身も、経験していないことはできない、だから経験することは尊い」という気持ちを持ち続けています。上場10周年を迎える現在、「事業規模1000億円の達成」を目標に掲げています。「在学中の皆さんにも、いろいろなことに情熱を持ってチャレンジしてほしい。たとえ失敗しても尊い経験が残り、それは必ず、将来の「成長エンジン」となります」。

COLUMN

安井さんのお気に入り



ガラスペン
愛用しているガラスペン。インクは自身で調合する。



筆記用具とペンケース
持ちやすさにこだわった愛用の革製ケース



ラグビーボール
スポンサーを務めていた「サンウルブズ」のメンバーのサインが入ったラグビーボール



アントレプレナー・オブ・ザ・イヤーの受賞盾
優秀な実業家に贈られるアントレプレナー・オブ・ザ・イヤー2011のアクセラレーティング部門で、大賞を受賞した時の盾



東証新規上市記念盾と小槌
東証一部上場のセレモニーで、鐘を鳴らした際に使用した小槌と記念の盾

気象庁 大気海洋部 環境・海洋気象課
海洋気象情報室 沿岸防災情報班

佐々木 香菜子さん SASAKI Kanako

2016年3月、理学部地球園科学科卒業。同年4月、気象庁入庁。全国の気象台へ提供する、波浪・潮汐に関する解説資料作りなどの業務に携わる。



**目標が明確だったから
信念を持って福大を選ぶことができた**

私たちの生活に欠かすことのできない天気予報。理学部地球園科学科を卒業した佐々木さんは、子どもの頃から「天気」や「雲」に興味を持ち、将来は気象に関連する職業に就きたいと考えていました。

高校生になってもその目標が変わることはなく、気象の分野も学べる大学を志望。全国的に気象を専門的に学べる私立大学が少なく、オープンキャンパスや「大学案内」を参考にしながら、福岡大学理学部地球園科学科へ進学することを決めました。他にも「地球科学」分野を置く大学がほとんどで、気象分野を深く学べる福岡大学を最終的に選ぶことができました。

目標は入学後も揺らぐことはなく、1年次からエクステンションセンターの「気象予報士受験対策講座」を受講。並行して、気象関連の民間事業者が開催する勉強会などにも出席し、気象に携わる人たちのつながりを広げることにも力を注ぎました。

**やり甲斐が大きい一方で
重圧も感じる重要業務**

佐々木さんが就職活動を行う際、気象関連の民間企業も選択肢の一つとしていましたが、「注警報や台風情報などは気象庁しか発表できず、民間企業は気象庁からのデータを元に予報業務を行っているため、ぜひ気象庁で働きたい」と志望しました。

子どもの頃からの夢を実現させ、現在は気象庁に勤務する佐々木さん。波浪・高潮に関する警報・注意報を発表するための解説資料を作成し、全国の気象台へ提供する業務を担当しています。波浪や潮汐に関する情報は、

「大学で何をやったか」が、何よりも大切

漁業従事者や臨海地域に住む人たちの仕事や暮らしに大きな影響を与えます。状況によっては、地域の自治体や内閣府が対応をとらなければならないケースも少なくありません。「社会にダイレクトに影響する予報業務に携わりたくて入庁しましたが、いざその立場に立ってみると、やり甲斐を感じる一方、重圧も感じます」。今後の目標について佐々木さんは、「現在の業務以外の分野の知識も広く吸収し、より高度な知識が必要となる全国予報班長や地方気象台の予報官になりたい」と話します。

**目標を持つことで
大学生活がより充実する**

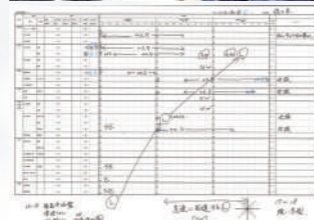
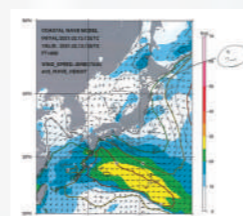
大学生活を振り返り、「パソコン操作に慣れたことやプログラミング技術を習得できたことが、大きな収穫の一つだった」と語る佐々木さん。研究室配属の直後から、パソコンは文房具、と教えられ、就寝中以外ほとんどパソコン画面の前にいるほどだったそうです。しかし、いざ入庁するとパソコンのスキルは学生時代以上に重要で、「特に私の所属部署では、プログラムを書けないと業務が回りません。大学時代に慣れていて良かったと思います」。また、在学中は勉強の傍ら、武道空手愛好会にも所属。勉学との両立に苦労したものの、最終的にはキャプテンを務め、大学選手権にも出場しました。「4年間続け、好成績も収められたことが自信になり、就職活動も堂々としていられた気がします」。福大には幅広い分野の学部・学科があり、授業の選択肢も広いので、さまざまな角度から物事を考える力を付ける環境が整っている」と佐々木さん。「どこかの大学に行ったか」ではなく「大学で何をやったか」が大事。大学生活を充実させるためにも、できるだけ早く将来の目標を持ち、行動に移して「もらいたいです」と、後輩たちにエールを送ります。

COLUMN

タイムスケジュール

- 08:30 勤務開始、本庁予報課による全国テレビ会報
▼
08:40 11時予報向けの波浪と潮汐に関する解説資料の作成
▼
10:30 11時予報向け解説資料発表完了～実況監視
▼
13:30 17時予報向けの波浪と潮汐に関する解説資料の作成
▼
14:30 17時予報向け解説資料発表完了～実況監視、監視・資料作成のための便利ツールの作成・修正・運用管理
▼
17:00 勤務終了

解説資料作成風景



資料作成にはこのようなメモも使用する

現在、福岡大学では募金活動に
取り組んでおり、その趣旨にご賛
同いただいた皆さま方から、任意
のご寄付にも関わらず、多大なる
ご支援が寄せられておりますこと
に深く感謝いたしております。

学校法人福岡大学未来サポート募金
(旧福岡大学学生サポート募金)
ご支援のお願い

福岡大学学生サポート募金は「本
学の学生に対する全人教育の推進、
豊かな学生生活の形成を支援する制
度」として、在学生、卒業生、保護者、
大学の相互の絆をより一層深めるこ
とにも、本学独自の醸成を図ること
を旨としております。

福岡大学学生サポート募金への寄
付金の活用状況(令和2年12月31日
現在)を次のとおりご報告します。

① 経済的困窮学生に対する奨学金
新型コロナウイルス感染症の影響
拡大に伴い、健康面・安全面を考
慮し、授与を中止し、12月24日
(木)に奨学生証を4人の学生へ

送付しました。なお当該学生に対
して1人につき30万円を寄付金
から支給しました。

② 新型コロナウイルス感染症
(COVID-19)に係る福岡大学学
生サポート募金

新型コロナウイルス感染症の影響
により家計が急変し、勉学の継続
に支障をきたす学生に対応するた
め、64人(減免額:3,567,000円)
を令和2年度後期授業料等減免の
財源として活用いたしました。

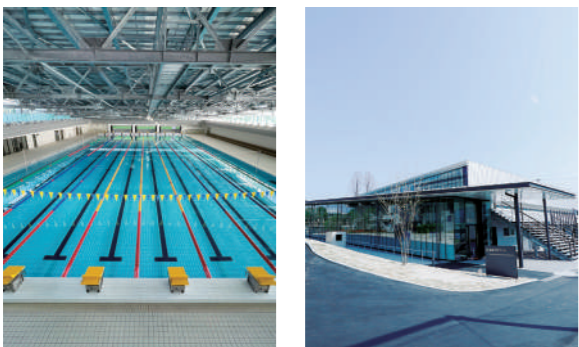
平成23年8月より開始しました
「福岡大学学生サポート募金」は、
皆様の多大なるご支援に支えられ
これまで数多くの学生支援を行っ
てまいりました。

この度、多様な使途への受け入
れを迅速に行うために、「学校法
人福岡大学未来サポート募金」へ
と名称を変更し、これまでの福岡
大学の学生に対する支援に加え、
寄付者の皆様が用途を指定するこ
とで、大学はもとより附属病院、
附属学校の在学生に直接支援して
いただける制度となりました。今
後とも「学校法人福岡大学未来サ
ポート募金」にご支援賜りますよ
う、よろしくお願い申し上げます。

創立85周年記念福岡大学
新室内プール(仮称)建
設募金

平成30年7月から皆様にお願
いしてまいりました「創立85周年記念
福岡大学新室内プール(仮称)建設
募金」は、おかげさまでましまして
令和3年3月末をもって募集期間を
終え、寄付金の掛受を終了させてい
ただきました。

皆さまから寄せられました温かい
ご支援に心から感謝申し上げます。
また最終の寄付状況は次号(令和
3年10月発行予定)の「福岡大学学
園通信」にてご報告申し上げます。



創立85周年記念福岡大学新室内プール(仮称)建設募金(掲載第8回)

Table with 4 columns: 募金対象者, 令和2年6月までの寄付金額(円), 令和2年7月~12月寄付金額(円), 寄付金累計額(円). Rows include 卒業生, 在学生の保護者, 職員・役員, 企業等法人, その他, 合計.

- 卒業生: 藤恵治 様 50万円, 磯野龍二郎 様 10万円, 磯野龍二郎 様 10万円, 喜多義和 様 30万円, 古賀真吾 様 5万円, 秋丸和彦 様 9万円, 緒方憲太郎 様 2万円, 岡田元子 様 2万円, 押川智尚 様 4万円, 梶原菜央 様 6万円, 桂林秀太郎 様 6万円, 川上竜躍 様 6万円, 志渡澤登 様 5万円, 柴垣裕司 様 5万円, 羽野剛 様 2万円, 松本太一 様 2万円, 濱崎弘志 様 2万円, 廣木摩理勢 様 7万円, 黒田由美 様 2万円, 谷川かおる 様 14万円, 富田千里 様 6万円, 富嶺克己 様 10万円, 中島裕之 様 3万円, 新田尚子 様 3万円, 服巻圭亮 様 3万円, 前河祐二 様 3万円, 松本優子 様 3万円, 柳瀬圭児 様 10万円, 匿名様 1人

※令和2年7月1日から12月31日までの寄付者のご芳名を掲載 ※ []内は累計寄付金額

学校法人福岡大学への寄付者ご芳名一覧

本学に対し多大なるご寄付を賜り、深く感謝いたします。ここに、令和2年7月1日から12月31日までの期間にご寄付をいただいた方々のご芳名を掲載させていただきます。

- 20,000,000円 株式会社 福岡大学サービス 代表取締役 米嶋 邦章 様
- 18,850,000円 福岡大学附属若葉高等学校後援会 様
- 10,500,000円 一般社団法人福岡大学同窓会有信会 理事長 大野 憲俊 様
- 10,000,000円 Yahoo!基金 様
- 2,000,000円 永井 謙佑 様
- 2,000,000円 primera 株式会社 様
- 1,000,000円 佐々木 亨 様
- 600,000円 公益財団法人金澤奨学会 理事長 廣渡 務 様
- 500,000円 福岡大学医学部同窓会 様
- 300,000円 株式会社久原醤油 代表取締役社長 河邊 哲司 様
- 250,000円 福岡大学附属若葉高等学校若葉会 様
- 100,000円 小野寺 一浩 様
- 100,000円 山田 祐二 様
- 100,000円 株式会社サンコンタクトレンズ 代表取締役 笹川 泰弘 様
- 100,000円 弁護士法人かばしま法律事務所 様
- 50,000円 医療法人飛梅会 はせ川クリニック 長谷川 善之 様
- 50,000円 内田 浩文 様
- 50,000円 牧野 昭一 様
- 50,000円 松本 祐一 様
- 5万円未満 池末 修 様
- 匿名様 10人

福岡大学学生サポート募金(掲載第26回)

Table with 4 columns: 使 途, 令和2年6月までの寄付金額(円), 令和2年7月~12月寄付金額(円), 寄付金累計額(円). Rows include 入学前予約型奨学金, 経済的困窮学生に対する奨学金, 国際交流に関する支援, 学生のスポーツ強化に対する支援, 正課外教育及び社会貢献活動に対する支援, その他学生の教育、学習及び生活に関する支援の充実を図る事業, 合計.

- 卒業生: 北尾幹彦 様 10万円未済, 竜千津 様 10万円, 竜豊久 様 2万円, 納田研二 様 2万円, 河村吉矩 様 2万円, 河本文雄 様 1万円, 馬場幸穂 様 1万円, 在学生の保護者: 青木和幸 様 1万円, 石松正稔 様 9万円, 大久保敏夫 様 3万円, 尾川和徳 様 3万円, 金富聡 様 5万円, 河津和芳 様 2万円, 杉真理 様 2万円, 田中喜太郎 様 2万円, 橋本孝之 様 3万円, 竜千津 様 3万円, 和角加奈子 様 5万円, 岩崎光昭 様 1万円未済, 福田祥子 様 1万円, 三島 功太郎 様 1万円, 匿名様 1人
- 職員・役員(退職者・学外理事等を含む): 山田 祐二 様 10万円, 藤嶋秀幸 様 3万円, 東野弘 様 4万円, 久永尚会代表者 様 2万円, 久永勇三 様 3万円, 小島秀人 様 1万円, 馬場幸穂 様 2万円未済, 持永倫明 様 2万円, 匿名様 6人
- 在学生の保護者: 匿名様 6人, 石上悦朗 様, 川波昇太 様, 金城順英 様, 香野浩 様, 副島淳 様, 原周司 様, 毛利史生 様, 米沢利広 様, 米沢利広 様, 二宮麻里 様, 遠藤正浩 様, 菊池孝志 様, 池末修 様, 青柳征一 様, 池末修 様, 岩山隆寛 様, 大神みどり 様, 大倉義文 様, 柿本真弓 様, 片岡直 様, 加留部善晴 様, 塩路幸生 様, 高山峯夫 様, 福岡大学スポーツ学部体親会 様, 田中守 様, 中西良子 様, 服部八重 様, 榎垣靖樹 様, 平松信康 様, 本田啓 様, 松原公紀 様, 森田慶子 様, 山口龍三 様, 吉山雅子 様

※令和2年7月1日から12月31日までの寄付者のご芳名を掲載 ※ []内は累計寄付金額

学部生3,923人、大学院生158人、法科大学院生10人の計4,091人が卒業



3月19日(金)、4,091人が福岡大学を卒業しました。今回は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から全体式典の挙行は断念し、学部・研究科ごとに式典等を行いました。また、学部・研究科の総代には、学長が直接学位記を授与しました。

福岡大学公式ウェブサイト「フクダイズム(FUKUDAism)」では、卒業生に向けて学長や在学生(総務委員長)、卒業生(医師・佐田悠輔さん、フジテレビアナウンサー・生野陽子さん)からのメッセージ等が掲載されました。



学長からのメッセージ



卒業生総代等へ学位記授与



正門アプローチ



フェースシールドを付けて学位記授与



中央図書館前広場



恩師と共に

各方面で目覚ましい功績を挙げた学生を表彰 - 課外教育活動成績優秀者 -

令和3年3月11日(木)、「福岡大学給費奨学金(二号)授与式」および「学友会課外教育活動成績優秀者表彰式」を行いました。「福岡大学給費奨学金(二号)」は、課外教育活動において特異な能力を発揮し、優れた業績を示した者に対して奨学金を授与する制度で、今回は7人に授与されました。「学友会課外教育活動成績優秀者表彰」は、課外教育活動を通じて優秀な成績を修めた学生を半期ごとに表彰する制度で、今回は団体の部で4団体、個人の部で6人が表彰されました。

令和2年度給費奨学金(二号)授与者

※学部・学年は表彰時のもの
※敬称略

所属	学部/学年	氏名	大会名及び種目	結果
柔道部	法学部/3年次	坪根 菜々子	ベルギー国際柔道大会	第1位
陸上競技部	人文学部/3年次	兒玉 芽生	第104回日本陸上競技選手権大会 女子100m	第1位
	スポーツ科学部/3年次	渡邊 輝	第104回日本陸上競技選手権大会 女子4×100mリレー	第2位
	スポーツ科学部/1年次	加藤 汐織	第104回日本陸上競技選手権大会 女子4×100mリレー	第2位
	スポーツ科学部/1年次	城戸 優来	第104回日本陸上競技選手権大会 女子4×100mリレー	第2位
	スポーツ科学部/4年次	尾山 和華	第104回日本陸上競技選手権大会 女子砲丸投	第3位
	スポーツ科学部/3年次	上田 百寧	第104回日本陸上競技選手権大会 女子やり投	第3位

令和2年度課外教育活動成績優秀者

団体の部(全国大会3位以上等)

学友会名	大会名及び種目	結果
陸上競技部(短距離女子)	第89回日本学生陸上競技対校選手権大会 女子4×100mリレー	第1位
	第104回日本陸上競技選手権大会 女子4×100mリレー	第2位
モーターボート・水上スキー部(男子)	第65回全日本学生水上スキー選手権大会 男子団体総合	第3位
ソフトボール部(男子)	全日本大学選抜男子ソフトボール選手権大会	第2位
放送研究部	第37回NHK全国大学放送コンテスト ラジオ番組部門	第2位

個人の部(全国大会3位以上等)

学友会名	学部/学年	氏名	大会名及び種目	結果
陸上競技部	人文学部/3年次	兒玉 芽生	第89回日本学生陸上競技対校選手権大会 女子100m、200m	第1位
			セイコーゴールデングランプリ陸上2020 女子100m	第1位
			第104回日本陸上競技選手権大会 女子100m、200m	第1位、第2位
	スポーツ科学部/4年次	尾山 和華	第104回日本陸上競技選手権大会 女子砲丸投	第3位
	スポーツ科学部/3年次	高島 真織子	第89回日本学生陸上競技対校選手権大会 女子三段跳	第1位
	スポーツ科学部/3年次	上田 百寧	第89回日本学生陸上競技対校選手権大会 女子やり投	第1位
柔道部	法学部/3年次	坪根 菜々子	第104回日本陸上競技選手権大会 女子やり投	第3位
	工学部/4年次	林 紘平	講道館杯全日本柔道体重別選手権大会 女子52kg	第3位
自動車部	工学部/4年次	林 紘平	全日本学生自動車運転競技選手権大会 男子小型貨物の部A	第1位

令和3年度「福岡大学高田法曹育成基金」奨学生に2人を認定

令和3年度の「福岡大学高田法曹育成基金」の奨学生に、池邊文彬さん(法曹実務研究科1年次生)と比嘉結衣さん(同1年次生)が認定されました。この奨学金は、本学の高田桂一名誉教授からの、本学法科大学院生を対象とする給費奨学金制度の創設を目的とした寄付によりできたものです。



学生全員に「携帯用除菌アルコールスプレー」を配布

福岡大学では、コロナの感染防止対策の一環として、全学生に「携帯用除菌アルコールスプレー」を配布しています。教室や各建物の出入口等では手指消毒液を設置し感染対策に努めていますが、より細やかな感染対策を講じるためのものです。

スプレーに入っているアルコール液の補充はキャンパス内で行えます。



「令和3年度入学式」を挙行



歓迎の辞（総務委員長・飯島禪仁さん）



入学の辞

令和3年度入学式を4月1日（木）に挙行了しました。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、式場への入場は新入生のみを制限し、午前・午後の2部制で行いました。

朔啓二郎学長から新入生に向けて、「これからの情報化時代、多様化された社会では、大きな枠組みの中で確実な知識の修得と実践する力が求められます。ワ

ンキャンパスに全ての学部・学科が集うこの環境を十分に活用してください」と言葉が送られました。

また、入学生総代の水迫莉子さん（商学部商学科1年次生）は、「福岡大学で柔軟な思考力と実践力を身に付け、それぞれの夢と目標を実現するため、日々の努力を怠らずに有意義な大学生活を送りたい」と入学の辞を述べました。



記念撮影



アルコール消毒をして入場



約4,600人が入学

新2年次生を対象に「令和2年度入学歓迎式」を挙行



3月31日（水）、新型コロナウイルスの影響で入学式が中止となった新2年次生を対象に入学歓迎式を行いました。当日は1,300人超の学生が一堂に会し、式典の様子はインターネットで同時配信されました。

式典で朔啓二郎学長は、「これから皆さんが生きていく社会は、人と人がコミュニケーションをとる方法や、多職種で連携するための技が不可欠となります。

コロナ禍で学んださまざまなことを生かしながら、将来の自分をイメージし、福大生であることを誇りに頑張ってください」と言葉を送りました。

また、入学生総代の野田駿斗さん（医学部医学科）は、「今まで以上に変化の激しい時代、さまざまな場面で柔軟に取り組める力を身に付け、豊かな学生生活を送りたい」と入学の辞を述べました。



学長式辞



式典に参加した学生たち



入学の辞



正門前で記念撮影



「フクダイズム (FUKUDAism)」で福岡大学の「今」を随時配信

令和2年6月に福岡大学公式ウェブサイトに「FUKUDAism(フクダイズム)」を開設しました。本学の教育・研究・医療の取り組みをはじめ、在学生の活動、附属学校の生徒や卒業生の活躍など、幅広く発信しています。

サイト名「FUKUDAism(フクダイズム)」は、「福大」と「イズム(主義・流儀等の意味)」を掛け合わせた造語です。福岡大学の「建学の精神」「教育研究の理念」に基づく「福大イズム」を持った福大人のアクティビティをたくさんお伝えします。